

**世界の希少動物
2nd Series****第5回****ホッキョクグマ****組立説明書**

ペーパークラフト「ホッキョクグマ」をダウンロードしていただきまして、ありがとうございます。シートに記載されている記号と、この説明書を参考に、すべてのパーツを組み立てると、「ホッキョクグマ」のペーパークラフトモデルが完成します。ご家族揃って挑戦してください。

組立説明書 A4・6ページ

クラフト A4シート×3 パーツ総数12

これは「ホッキョクグマ」の組立説明書です。パーツデータは別にダウンロードしてください。パーツデータのプリントアウトには、A4 サイズで厚みのある、しっかりした用紙(官製ハガキ程度)をおすすめします。

本サイトの作例ではケント紙の135kg(0.18mm)を使用しています。

1 始める前に

用意する道具・材料

ものさし ハサミ カッターナイフ 鉄筆など先のとがったもの(折目をつけるためのもの) サインペン
ピンセット 接着剤 指先をきれいにするおしぼり
辞書など「おもし」になるもの(水平に圧着させるため)
など。

ご注意

カッターナイフなど刃物の取扱いには十分にご注意ください。また刃物を使用する場合には、厚紙などを下敷としてお使いください。

接着剤等を使用する際は、室内の換気を十分におこなってください。

データを出力するプリンタの機種によって、出力範囲が異なる場合があります。多少縮小して出力することをお勧めします。

2 作り方

このペーパークラフトは、右図の工作方法の説明をよく読んで、それぞれのパーツの組立てに必要な工作方法に従って組み立ててください。

外線はカッターナイフやハサミで丁寧に切り取ります。

ワンポイント・アドバイス

カッターナイフで丁寧に切り取ってください。

山折り線は、線に沿って鉄筆など先のとがったもので軽くなぞり、折りやすくしてください。極端に強くなぞると、紙に裂目ができてしまうので注意してください。

接着剤をつけすぎると、紙にしわができるので注意してください。

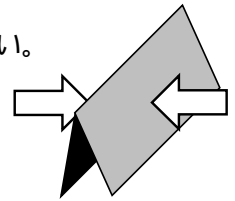
作り始める前に用紙の余白部分等で、接着剤の適量をお試しください。接着剤には乳白色の木工用ボンドをおすすめします。

小口や折目が白く目立つ場合は、サインペンや色鉛筆などで補修してください。完成後では補修作業が難しいので、制作段階で確認しながら組み立ててください。

工作方法の表記

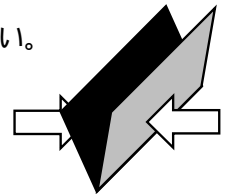
————— (実線)

この部分は**山折り**にしてください。



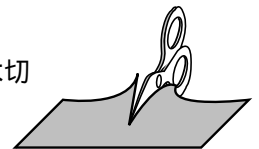
----- (破線)

この部分は**谷折り**にしてください。

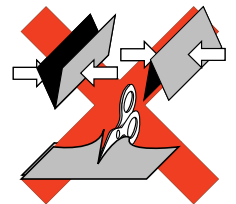


----- (一点鎖線)

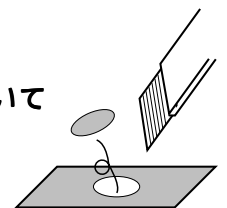
このマークがついている部品には切込みを入れてください。



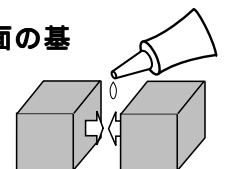
このマークがついている部品には折曲げ及び切込みを入れな~~い~~てください。



このマークがある部分は**切り抜いて**ください。



このマークがある部分が**接着面の基準**になります。



3 組立て

組立図と工作方法（2ページ）を参考に、各パーツを組み立ててください。

組立て時の注意表記



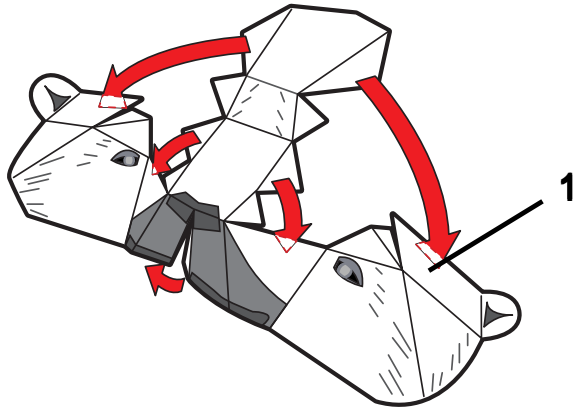
折る・丸める



接着する

ホッキョクグマの組立て

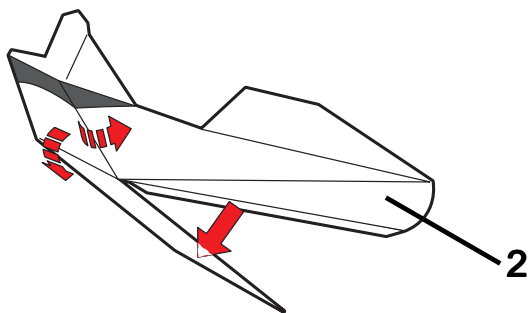
1. 頭の組立て



参考写真



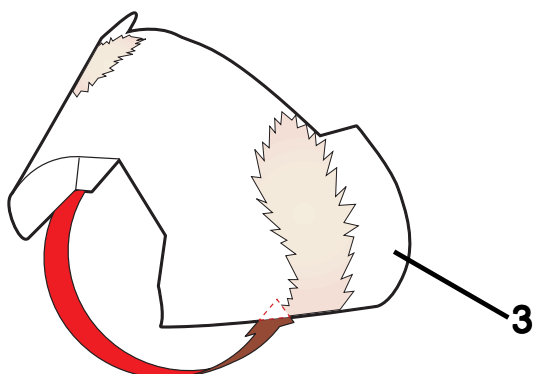
2. あごの組立て



参考写真



3. 首の組立て



参考写真



3 組立て

組立図と工作方法（2ページ）を参考に、各パーツを組み立ててください。

組立て時の注意表記



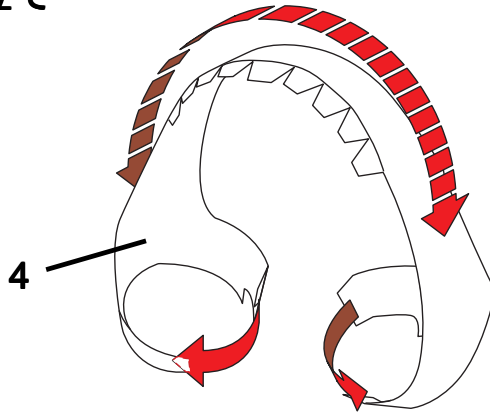
折る・丸める



接着する

ホッキョクグマの組立て

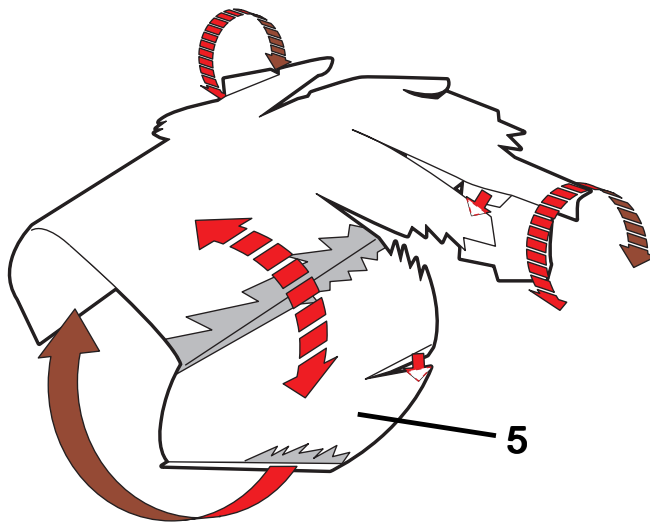
4. 肩の組立て



参考写真



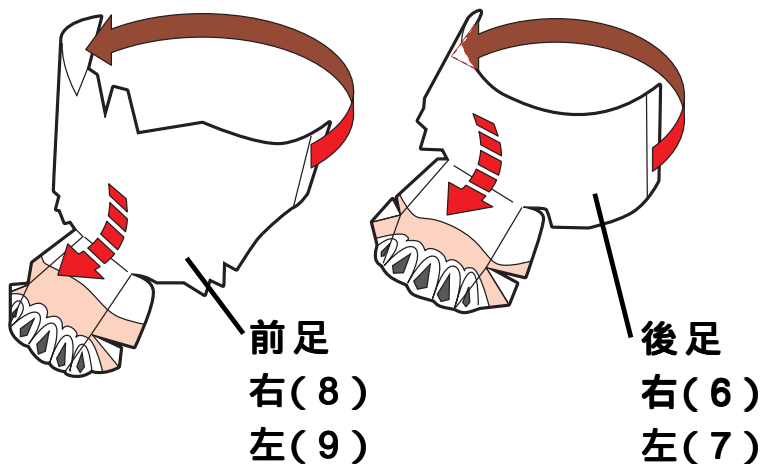
5. 胴体の組立て



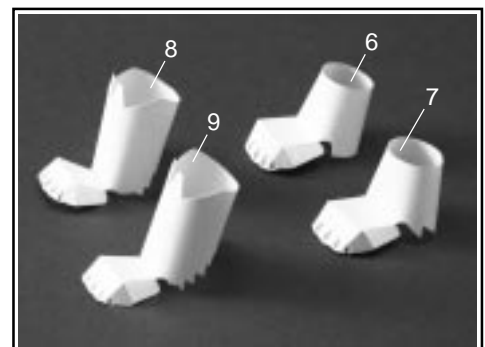
参考写真



6. 足の組立て それぞれ左右組み立てます。



参考写真



完成写真です。組立てや着色の参考にしてください。



カラータイプ



無着色タイプ

(紙の質感をより楽しめるタイプです)



希少動物「ホッキョクグマ」

ホッキョクグマは現存する陸上の肉食獣としては、ヒグマとともに最も大きな動物です。オスの成獣は体長2メートルを超え、体重も800キロに達したのもいます。体格に比べて頭が小さく首が細長くなっています。ホッキョクグマはシロクマと呼ばれるように全身真っ白か、白っぽい黄、茶色の毛で覆われており、体温を逃がさないようにコートのような役目も果たしています。また他のクマに比べて皮下脂肪が多く、体温を保持しやすい身体になっていることも寒さに強い理由です。主食はアザラシやセイウチ、魚です。泳ぎが得意なので自ら海に入って捕らえることもあります。春になると海岸部から内陸部へ移動して植物や鳥、時にはトナカイも食べます。生息地はその名のとおり北極地方の沿岸で、1950年代から70年代前半まで、狩猟によって減少し、絶滅の恐れがありましたが、1976年のホッキョクグマ保護協定ができてから回復し、危機を脱しました。